

## 平成22年度防衛施設学会総会資料

平成23年6月2日

### 第1号議案 平成22年度事業・活動報告（平.22.4.1.～23.3.31.）

#### 1 概要

平成22年度は、「防衛施設建設技術研究会」が海上フレキシブルバリアー「環境・エネルギー技術部会」が新たにエネルギーコスト削減について調査・研究を行うとともに、年次フォーラム・特別講演会を1回、ミリタリーエンジニアテクノフェアを1回、見学会を1回開催した。また、学会誌「MIRAI」第10号、第11号他を発行した。

なお、会員数は23年3月末現在、正会員325名、賛助会員56社である。

#### 2 調査研究部門

##### (1) 防衛施設建設技術部会

重要海上施設や海浜施設における保安措置の一助となることを目指し、公開で海上の侵入者に対するフレキシブルバリアーの実海域検証実験を行うとともに、その結果を解析し、「海上フレキシブルバリアー設置マニュアル」を設定した。

##### (2) 環境・エネルギー技術部会

防衛施設におけるエネルギー関係コストの削減及び人員削減等につき調査研究を行い成果の一部を報告書「防衛施設におけるエネルギーコストの削減策について」に取り纏めた。

##### (3) 年次フォーラム 2011 及び特別講演会等

平成23年2月4日、グランドヒル市ヶ谷において開催され約700名が参加した。第一部は防災・減災技術、第二部は環境・新技術、第三部は衝突、第四部は爆発関連で全12テーマであった。特別講演は「カンボジアにおける平和構築活動～地雷原の村から安全・安心な村へ～」と題し、防衛大出陣でカンボジアコミュニティー総合開発担当理事の出田孝二氏が行った。

初めての試みとして、研究会と同時に発表会場と隣接した場所で計22社の企業がブースを設けて出展した。

(4) ミリタリーエンジニアテクノフェア

防衛施設への応用が考えられる企業や団体が所有する技術を広く報告し、活用することを狙いとして8月4日にグランドヒル市ヶ谷において開催され、12社が出展、約600名が参加と好評裏に終了した。フェアの様子を含めた学会活動全般が、朝雲新聞の他、日刊建設工業新聞でも紹介された。

### 3 出版部門

以下のとおり、3種類を出版した。

(1) 学会誌「MIRAI」

記念号の第10号を6月に、第11号を12月に各々1,400部出版し、全会員に無償配布した他、寄贈、新規会員勧誘に使用した。

(2) 年次フォーラム2011

年次フォーラムの開催に合わせ、平成22年12月に講演概要集を出版し、フォーラム当日有償配布した他、全会員等に無償配布した。

(3) 防衛施設学会誌 別冊(防衛施設 新技術情報)Vol.2

平成21年度開催の第3回、及び22年度の第4回ミリタリーテクノフェアに出展された技術を新技術情報として取りまとめ1万部出版し、全会員に配布した他、防衛省の施設関係職員にも広く配布した。

### 4 総務部門

(1) 総会

平成22年5月23日、グランドヒル市ヶ谷にて開催された。140名が出席(内、委任状110名)し、平成21年度事業報告及び収支報告を承認した。また、役員会から平成22年度事業計画等が報告された。

(2) 会員の状況等

平成23年3月31日現在の会員の状況は、以下のとおりである。

ア 正会員は325名で、この1年間で35名が純増した。又、賛助会員は56社で、1社が純増した。なお、平成23年4月1日に新たに7社が入会し、賛助会員は現在63社となっている。

イ 平成22年度会費の納入状況は、正会員が未納者140名で、賛助会員は全て納入されている。なお、未納者には学会誌第11号送付時に会費納入を督促した。

(3) 見学会

平成22年11月25日、陸上自衛隊土浦駐屯地、及び陸上自衛隊勝田施設学校を対象に実施し、37名が参加した。

(4) 総務事務等

本学会への電話、FAX、メール、郵便物等への対応、会員との通信連絡、会員名簿の整理、会費納入状況の把握、未納者への督促、出版物の発送、ホームページの維持更新等の事務を円滑に実施するため、これらの補助業務を(株)大應に委託した。

また、本学会の出版事務も委託した。

ア 平成22年度契約

契約は上半期、下半期に分け、契約金額の合計は約500万円である。

なお、その内訳は補助事務費が約100万円、出版事務費が約400万円である。

イ 平成23年度契約

上半期の補助業務のみとし、契約金額は535,500円である。

(5) 調査研究成果の一般書店での販売と公益活動

調査研究の成果として平成20年9月に出版し、一般書店でも販売してきた「海上自衛隊施等の美しい歴史的建造物」の出版に関する覚書が期限を迎えた。

出版に要した金額は約260万円であるが、出版社との覚書により、公益活動用に買い上げた40万円及び一般書店等での売上額140万円の計約180万円が出版社に支払った金額である。

(6) 役員会(全2回開催)

定めでは年3回となっているが、年度末に大震災があり、以下の2回となった。

ア 第1回(4月5日)、銀座ルノアール四谷駅前店会議室

平成21年度の総括、平成22年度の事業計画、総会準備等

イ 第2回(8月3日)、グランドヒル市ヶ谷

年次研究発表会の年次フォーラムへの衣替え、学会行事、学会誌等

第2号議案 平成22年度経理報告（平. 22. 4. 1. -23. 3. 31.）

1 平成22年度決算報告

(1)総括

単位：円

収 支 科 目	合 計	一般会計	特別会計	内部取引 消去
I. 収入の部				
1. 会費収入	3,670,000	3,670,000	-	
2. 事業収入	4,851,740	754,475	4,097,265	
3. 雑収入	332	332	-	
4. 繰入金収入	0	0	597,793	△597,793
収入計 (A)	8,522,072	4,424,807	4,695,058	△597,793
II. 支出の部				
1. 事業費	7,795,973	3,190,515	4,605,458	
2. 管理費	1,314,572	1,224,972	89,600	
3. 繰入金支出	0	597,793	-	△597,793
支出計 (B)	9,110,545	5,013,280	4,695,058	△597,793
当期収支差額 (C)=(A)-(B)	△588,473	△588,473	0	
前期繰越収支差額 (D)	1,981,593	1,981,593	0	
次期繰越収支差額 (C)+(D)	1,393,120	1,393,120	0	

## (2)一般会計

単位:円

収支科目	金額	備考
1. 会費収入	(3,670,000)	
(1) 正会員	820,000	205名
(2) 賛助会員	2,850,000	57社
2. 事業収入	(754,475)	
(1) 総会懇親会費収入	225,000	
(2) 学会誌販売収入	41,000	10号, 11号誌
(3) 研究発表概要集販売収入	39,000	
(4) 広告収入	449,475	10号, 11号誌
3. 雑収入	(332)	
(1) 利息収入	332	
収支科目	金額	備考
4. 繰入金収入	0	
(1) 特別会計繰入金収入	0	
収入計 (A)	4,424,807	
1. 事業費	(3,190,515)	
(1) 総会懇親会費	333,095	
(2) 学会誌発行費	2,228,100	10号, 11号誌
(3) 研究発表概要集発行費	229,320	
(4) 公益事業費	400,000	呉・江田島写真集
2. 管理費	(1,224,972)	
(1) 事務局経費	1,071,000	
(2) 通信料	14,220	請求書等送付
(3) 手数料	56,020	
(4) 会議費	53,980	
(5) 交通費	7,760	
(6) 雑費	21,992	手土産, 文房具購入等
3. 繰入金支出	(597,793)	
(1) 特別会計繰入金支出	597,793	
支出計 (B)	5,013,280	
当期収支差額 (C)=(A)-(B)	△588,473	
前期繰越収支差額 (D)	1,981,593	
次期繰越収支差額 (C)+(D)	1,393,120	

## (3)特別会計

単位:円

収 支 科 目	金 額	備 考
1. 事業収入	(4,097,265)	
(1)テクノフェア	(1,005,000)	
展示料収入	600,000	第 4 回
懇親会費収入	405,000	第 4 回
(2)見学会	(165,000)	
参加費収入	165,000	
(3)年次フォーラム	(1,798,000)	
展示料収入	1,570,000	
懇親会費収入	228,000	
(4)新技術情報	(1,129,265)	
負担金収入	1,129,265	Vol.1 の一部残金と Vol.2
2. 繰入金収入	(597,793)	
(1)一般会計繰入金収入	597,793	
収入計 (A)	4,695,058	
1. 事業費	(4,605,458)	
(1)テクノフェア	(1,053,493)	
展示室料	575,312	第 4 回
懇親会費	397,331	第 4 回
広告費	80,850	パンフレット, ポスター
(2)見学会	(130,049)	
交通費等	130,049	
(3)年次フォーラム	(2,058,155)	
展示室料	1,378,140	
懇親会費	381,560	
謝金	30,000	
広告費	268,455	パンフレット, 朝雲広告
(4)新技術情報	(1,363,761)	
発行費	1,363,761	Vol.2
2. 管理費	(89,600)	
(1)会議費	89,600	
3. 繰入金支出	0	
(1)一般会計繰入金支出	0	
支出計 (B)	4,695,058	
当期収支差額 (C)=(A)-(B)	0	
前期繰越収支差額 (D)	0	
次期繰越収支差額 (C)+(D)	0	

## 2 監査報告

帳簿など関係書類を厳正に監査した結果、上記決算報告が適正であることが確認された。

平成 23 年 5 月 17 日 監事 藤田正二

### 第3号議案 学会役員等の変更

理事の変更

人事異動を踏まえ、村山 明夫氏（陸上幕僚幹部施設課）を木村 恒之氏（陸上幕僚幹部施設課）に交代する。

以上

## ○ 役員会報告 1 平成23年度事業計画（案）

### 1 概要

本学会の目的を達成するため、学会の運営基盤を固めるとともに、防衛施設技術に関する調査研究の体系的推進、及び社会貢献に繋がる事業展開を図り、平成22年度とほぼ同時期に同様の行事を行うこととする。

なお、会場確保の観点等から、総会、年次フォーラムの開催日時は早期に決定する必要がある、決定次第、ホームページに掲載し、お知らせする。

### 2 総会

1回開催（平成23年6月2日にグランドヒル市ヶ谷で開催を予定）

### 3 年次フォーラム2012

1回開催（平成23年2月1日にグランドヒル市ヶ谷を予定）

### 4 見学会

全2回実施（会員の希望を踏まえ、基地関係、民間工事現場各1回）

（案）第1回 陸上自衛隊富士総合火力演習準備訓練（8月を予定）

第2回 新技術を活用したMM21地区現場（11月を予定）

### 5 ミリタリーエンジニアテクノフェア 1回開催

第5回は平成23年9月7日にグランドヒル市ヶ谷で開催を計画している。

概要集は次回第6回終了後Vol. 3として発刊し、会員及び防衛省施設関係者に無償配布する予定である。

出展者は、従前どおり、事前に賛助会員となってもらい、5万円を負担する

### 6 学会誌の発行

第12号、13号の2号を発行予定

なお、第12号のテーマは、今回の大震災を踏まえ「津波について」を予定している

### 7 調査研究活動

以下の活動を計画しているので、関心のある方の参加を歓迎する。

- (1) 防災技術部会  
基地施設の災害対策
- (2) 環境・エネルギー技術部会  
基地施設のエネルギー削減策及び新エネルギーの活用策
- (3) 局部破壊評価技術部会（新設）  
高速衝突を受けるRC構造物の耐弾設計法確立に資するため、既往の局部破壊評価式及び問題点の整理、新局部破壊評価式の検証、数値シミュレーション法の検討及び補強方法・設計法の検討等を行う

## 8 学会の広報活動について

従来、HP、学会誌、学会行事に限定されてきたが、フェアを含めた学会活動全般が建設工業新聞に掲載されたことは大きなPRとなった。引き続き、広報の在り方を検討し、更なる学会の発展を目指したい。会員の協力をお願いする。

## 9 法人化の検討

本学会の目的達成のため、公益活動を容易にし、業務の委託・郵貯銀行以外の金融機関との取引を可能にすることを目指し、法人化に関する情報収集・検討を行ってきたが、以下の課題を引き続き検討することとする。

なお、目指しているのは、収益事業以外の所得には課税されない「非営利型の一般社団法人」である

検討結果を踏まえ、会則第27条（規約の変更）により総会に諮ることとする。

- (1) 法人設立時の留意点
- (2) 法人移行に必要な体制（専属・固定的な学会事務局メンバー（無報酬）の確保）
- (3) 法人設立時の作業及び法人化後の作業

## 10 日本学術会議協力学術研究団体の指定

日本防衛学会が本年1月に指定を受けており、本学会も指定を目指したい

## 11 幹事の変更

別府万寿博氏（防衛大学校）を平川大貴氏（防衛大学校）に交代するとともに村山明夫氏（陸上幕僚監部）を追加する。

以上

## 役員会報告—2 平成23年度予算案

### 1 収入の部（単位：円、以下同じ）

#### （1）一般会計

ア 正会員会費（280人の内170名）	一式	680,000.-
イ 賛助会員会費（64社）	一式	3,200,000.-
ウ 事業収入等	一式	800,000.-

小計 4,680,000.-

#### （2）特別会計

ア 2012年次フォーラム	一式	2,000,000.
イ 第5回シリコンエンジニアフェア	一式	1,200,000.-
ウ 見学会（2回）	一式	400,000
エ 技術情報誌発刊負担金収入	一式	1,200,000.-

小計 4,800,000.-

（3）前期繰越金 一式 1,393,120.-

収入合計 10,873,120

### 2 支出の部

#### （1）一般会計

ア 事務局経費	一式	1,100,000.-
イ 学会誌発刊費(12, 13号誌)	一式	2,300,000.-
ウ 年次フォーラム概要集発刊費	一式	250,000.-
エ 総会経費	一式	400,000.-
オ 通信費	一式	15,000.-
カ 振込手数料	一式	60,000.-
キ 会議費	一式	100,000.-
ク 雑費	一式	50,000.-

小計 4,275,000.-

(2) 特別会計

ア	2012年次フォーラム	一式	2,000,000.-
イ	第5回リ列エンジニアフェア	一式	1,200,000.-
ウ	見学会	一式	400,000.-
エ	新技術情報誌VOL3発行費	一式	1,200,000.-
オ	会議費等	一式	100,000.-
カ	書籍送料	一式	500,000.-
	小計		5,400,000.-
	支出合計		9,675,000.-
	次期繰越額		1,198,120.-